

大卒「就職率」は77.1%で8年連続アップ！

“不安定な雇用”は大卒者の11.6%、6.6万人！

旺文社 教育情報センター 2018年9月13日

2018年3月に大学を卒業した56万5千人のうち、就職者総数は43万6千人、就職率(ここでは「卒業者に占める就職者の割合」)は77.1%であることが、文部科学省の『平成30年度学校基本調査速報』でわかった。景気好調の中、就職率は上昇し、「安定的な雇用に就いていない」大卒者(=「一時的な仕事に就いた者」+「就職も進学もしていない者」+「就職者のうち正規の職員等でない者」)も前年より6千人減少した。ここでは大学・短大の就職率の推移等について紹介する。

■大卒の就職率は1.0ポイントアップ

表1に大学(学部)と短大(本科)の状況別卒業生数をまとめた。

2018年3月の大学卒業生数は56万5千人。このうち、就職者総数(「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた就職者数。以下同じ)は43万6千人で、前年より4千人(0.9%)増加。就職率は77.1%で、前年より1.0ポイントアップし、8年連続の上昇となった。なお、就職者のうち、「正規の職員等でない者」は1万7千人で、就職者総数に占める割合は3.9%となっている。

一方、2018年3月の短大(本科)卒業生数は、5万5千人。このうち、就職者総数は4万4千人で、前年より1千人(3.0%)減少。就職率は81.4%で、前年より0.6ポイントアップし、こちらも8年連続の上昇となった。

■大学(学部)の状況別卒業生数

(表1)

年度	卒業生数 (人)	就職者(人)		「大学院等への進学者」のうち 就職している者(人)		(再掲) 就職者総数(人)	就職率 [卒業者に占める 就職者の割合]
		正規の職員等	正規の職員等で ない者	正規の職員等	正規の職員等で ない者		
	A	B	C	D	E	F=B+C+D+E	F/A
2013	558,853	353,125	22,734	50	48	375,957	67.3%
2014	565,573	372,509	22,259	60	17	394,845	69.8%
2015	564,035	388,578	21,132	33	16	409,759	72.6%
2016	559,678	398,979	19,116	46	22	418,163	74.7%
2017	567,763	413,915	18,348	56	14	432,333	76.1%
2018	565,419	419,035	17,058	51	8	436,152	77.1%

■短大(本科)の状況別卒業生数

年度	卒業生数 (人)	就職者(人)		「大学院等への進学者」のうち 就職している者(人)		(再掲) 就職者総数(人)	就職率 [卒業者に占める 就職者の割合]
		正規の職員等	正規の職員等で ない者	正規の職員等	正規の職員等で ない者		
	A	B	C	D	E	F=B+C+D+E	F/A
2013	62,375	39,724	6,126	3	0	45,853	73.5%
2014	58,797	38,773	5,463	0	1	44,237	75.2%
2015	59,435	41,161	5,243	0	8	46,412	78.1%
2016	57,108	40,812	4,409	2	9	45,232	79.2%
2017	56,722	42,003	3,808	0	7	45,818	80.8%
2018	54,598	41,327	3,124	1	3	44,455	81.4%

(注)①「大学院等への進学者」=大学院研究科、大学学部、短大本科、大学・短大の専攻科・別科へ入学した者。また、進学しかつ就職した者を含む。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」=雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

なお、文部科学省・厚生労働省は毎年4回（10・12・2・4月）実施する「就職状況調査」結果によるもののみを「就職率」としている。この文部科学省・厚生労働省の調査は62大学・20短大の抽出調査によるものであり、ここでの「就職率」とは「就職希望者に対する調査時点での就職者の割合」だ。『学校基本調査速報』の「卒業者に占める就職者の割合」の数値とは異なっているので注意を要する。

■「安定的な雇用に就いていない」大学卒業者は6千人減少

表2に大学（学部）と短大（本科）卒業者のうち「安定的な雇用に就いていない者」についてまとめた。

大学（学部）卒業後、「一時的な仕事に就いた者」は9千人、「就職も進学もしていない者」は4万人、「就職者のうち正規の職員等でない者」は1万7千人で、これらの合計（＝「安定的な雇用に就いていない者」）、つまり“不安定な雇用者”は、6万6千人。大学卒業者の11.6%（前年度、12.6%）を占め、減少傾向となっている。

また、「就職も進学もしていない者」4万人のうち、「進学準備中の者」は2千人、「就職準備中の者」は2万人だった。

一方、短大（本科）卒業後に「安定的な雇用に就いていない者」は7千人で、短大卒業者に占める割合は13.7%（同、15.3%）となっている。

■大学(学部)卒業者のうち「安定的な雇用に就いていない者」 (表2)

年度	卒業者数 (人)	一時的な仕事 に就いた者(人)	就職も進学も していない者 (人)	就職者のうち 正規の職員等でない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者の割合
	A	B	C	D	E=B+C+D	E/A
2013	558,853	16,736	75,929	22,782	115,447	20.7%
2014	565,573	14,519	68,484	22,276	105,279	18.6%
2015	564,035	11,730	58,102	21,148	90,980	16.1%
2016	559,678	10,184	48,866	19,138	78,188	14.0%
2017	567,763	9,183	44,182	18,362	71,727	12.6%
2018	565,419	8,686	39,843	17,066	65,595	11.6%

■短大(本科)卒業者のうち「安定的な雇用に就いていない者」

年度	卒業者数 (人)	一時的な仕事 に就いた者(人)	就職も進学も していない者 (人)	就職者のうち 正規の職員等でない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者の割合
	A	B	C	D	E=B+C+D	E/A
2013	62,375	2,115	6,215	6,126	14,456	23.2%
2014	58,797	1,778	5,409	5,464	12,651	21.5%
2015	59,435	1,414	4,899	5,251	11,564	19.5%
2016	57,108	1,360	4,009	4,418	9,787	17.1%
2017	56,722	1,173	3,686	3,815	8,674	15.3%
2018	54,598	979	3,354	3,127	7,460	13.7%

(注)①「就職も進学もしていない者」=家事の手伝いなど就職でも、「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」=雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

③「安定的な雇用に就いていない者」=「一時的な仕事に就いた者」+「就職も進学もしていない者」+「就職者のうち正規の職員等でない者」。